



北の大地で大活躍

7月26日～28日に札幌市で開かれた「第30回全国少年少女レスリング大会」に出場し、準優勝の好成績を収めた鳥羽ジュニアレスリングクラブに所属する3選手が8月7日、木田市長へ報告に訪れました。

準優勝を勝ち取ったのは、安楽島小学校3年の中本圭作君と鳥羽小学校5年の山口太一君、伊勢市立明倫小学校6年の植村仁美さんで、木田市長は「おめでとう。昨年は銅で、今回は銀。次は、金を目指してください」と喜んでいました。



サンタバーバラからようこそ鳥羽へ

鳥羽市国際交流協会は8月10日、鳥羽国際ホテルでサンタバーバラ市中学生4人の歓迎会を行いました。昭和41年に姉妹都市提携を結んだカリフォルニア州サンタバーバラ市と相互に中学生を派遣し交流する事業は、今年度で22回目を迎えました。交流会では、両市の派遣中学生と友人や家族など約60人が参加して歓談し、みんなで鳥羽物語を踊るなど楽しいひと時を過ごしました。

サンタバーバラ中学1年のスティーブン君は、「鳥羽はとても美しく安全な街だと感じました。人々はみな親切で、楽しく過ごしています」と語ってくれました。



事故を想定した合同救助訓練

9月14日に利用が開始される鳥羽市と伊勢市を結ぶ第二伊勢道路で、8月22日、交通事故を想定した救助訓練が行われました。

訓練は鳥羽河内トンネル内で車両3台が絡む事故が発生し5人が負傷と想定して実施され、鳥羽市消防本部、伊勢市、志摩市などの近隣市町の消防、警察、病院など13機関から約60人が参加しました。

参加者は、それぞれ迅速に役割をこなし、本番さながらの緊迫した訓練となりました。



観光客を守るために

8月19日、鳥羽商工会議所かもめホールで地震防災講演会が開催されました。

講師に名古屋大学の山岡耕春教授を迎え、観光地における防災～観光客を地震津波から守る～について話していただきました。

集まったかたがたは、火山の観光地で行われている観光客用のハザードマップでの啓発や、美しい景観と災害は隣り合わせであることなどについて話を真剣に聴いていました。